

4. 次期四日市市総合計画 全体構成骨子案（議論のための叩き台）

2030年の四日市 ～課題を乗り越え、輝き続けるために～

次期総合計画（2020年度～2029年度）

Next ～2040年頃

- 人口吸引力は健在
- 段階的に税収が減少
- 団塊の世代が75歳に
- リニア開通（東京⇄名古屋）

未来の姿 10年後

将来都市像「○○○○○○○○」

キーワード：元気、存在感、未来、期待、安全、安心、幸福、成長、発展、進化、創造、牽引、快適、中枢、中核、産業、環境、イノベーション、チャレンジ、など

※次の10年間で、どのようなまちを創りたいか、どう変えたいか簡潔で分かりやすいキーワードを用いて設定する予定

未来地図をどう描く？

- 【人口】**
 - ・30代、40代の子育て世代が増加し、転出に歯止めがかかっている
 - ・出生率が上昇し、まちの将来を担う若年層が増加している
 - ・総人口は横ばいで推移し、30万人以上を維持している
- 【社会】**
 - ・人権と多様な価値観が尊重され、機会の平等が確保されている
 - ・支えあいの中で子育てや介護の負担が減り、ライフスタイルに合った働き方ができている
 - ・アクティブシニアの働く場、活動の場が増え、生涯を通じて自分らしく暮らしている
- 【都市】**
 - ・都市機能が集積した、利便性、安全性、快適性が高い市街地が形成されている
 - ・地域どうしが公共交通を軸に結ばれ、多核的にネットワーク化した構造になっている
- 【生活】**
 - ・地域ぐるみの健康づくりが定着し、健康寿命が延びている
 - ・多様なコミュニティの中で、お互いを思いやり、支えあう良好な関係ができている
 - ・再生可能エネルギーの活用により、世界最先端の低炭素な暮らしができている
- 【産業】**
 - ・日本を代表する産業都市として、人口と経済力を牽引する存在感を放っている
 - ・産学官の連携により、地域課題を解決する多様な産業が起り、地域経済が循環している
 - ・AIやIoTを活用した本市発の産業技術が、快適な暮らしづくりに貢献している

まちづくりの基本的な考え方 ～新時代へ対応するための発想の転換～

- 「ないものを補う」から「あるもの・つながりを生かす」、持続可能なまちづくりへ
- “人口維持と経済規模の拡大”に“市民の幸せと満足度の向上”をプラスして
- 課題に向き合い、挑戦を続け、失敗からも学びとる、先手・創造型の都市経営へ
- 遠くて近い2040年。今後の10年が勝負の分かれ目
- 誰かがやってくれるわけではない。自助あつての共助

- 団塊ジュニア世代が65歳に



「持続可能な社会」の実現 (SDGs)を視野に入れて

オール四日市で取り組む協働・共創のまちづくり

地域資源等を活用した都市の発展

四日市市が持つ都市の可能性と地域資源を生かし、新しいまちの価値を創造していく

連携・協働による生活の質の向上

市民・事業者・市が連携・協働して地域課題を解決し、生活の質を高めていく

次期四日市市総合計画〔2020-2029〕 全体構成骨子案

基本構想

将来都市像



基本目標

基本目標〔10年間〕

- (1) 誰もが安心・安全に暮せるまち
- (2) 未来を先どる元気で活力あるまち など

(※) 基本目標を置くことを想定しているが、今後の検討によっては、まちづくりの理念・方向性・戦略などを示すこともありうる

◆将来人口 ◆土地利用 ◆都市機能の高次化 など

基本計画

分野別基本政策

「生活満足度の高い上質な都市」の実現に向け、市民の暮らしに関わるまちづくりの8つの分野において、様々な取組を行います。〔10年間 ※5年後にアップデート〕



生活・居住：人と人がつながり、自分らしい生活がおくれるまちへ
健康・福祉：地域社会で健やかで幸せに暮らせるまちへ
防災・消防：不測の災害に対しても対応可能な、しなやかで強いまちへ
文化・スポーツ・観光：港町としての歴史と文化・スポーツ・観光の息づくまちへ
交通・にぎわい：誰もが使いやすい交通手段が整い、次々と新しい人が訪れ、新たな出会いが生まれるまちへ
産業・港湾：人とアイデアが融合し、新たな価値が創造されるまちへ
環境・景観：環境に優しく、良質な景観のある持続可能なまちへ
教育・子育て：やさしく、たくましく、しなやかに生きる力を持った元氣な子供が育つまちへ

重点的横断戦略プラン

将来都市像の実現に向け、特に力を入れて取り組むべき課題について、分野横断型の戦略プランとして重点的に推進します。〔5年間〕

子育てするなら四日市 + (プラス)

リージョン・コア YOKKAICHI

幸せ、わくわく！ 四日市生活

<創造>

<革新>

<持続>

※各プランについて、わかりやすい数値目標を設定する予定

推進計画

基本構想・基本計画を具体化するための実施事業を示した計画(※毎年ローリング方式)

5. 次期総合計画における将来都市像(案)

未来を創るための羅針盤

四つの将来都市像

案

充実した人生を歩むための基盤を育み、誰もが憧れる

『子育て・教育安心都市』

20代の転入が増加する中、30～40代の子育て世代が市外に転出する傾向がみられます。

四日市で子どもを産み、育てたい。四日市で学べてよかったと思える、子どもと家族にやさしいまちづくりを目指します。

東海地域をリードし、地域社会のイノベーションを誘発する

『産業・交流拠点都市』

第4次産業革命の到来とスーパーメガリージョンの形成を機に、日本有数の産業都市四日市市が、さらに飛躍する時がきました。**都市機能の集積と高次化、近未来技術の社会実装を進め、人の交流が仕事や魅力を生みだす好循環のまちづくりを目指します。**

まちの未来を守り、将来の市民にバトンをつなぐ

『環境・防災先進都市』

公害の歴史と教訓から学び、南海トラフ地震等の国難規模の災害へ備えることは、今を生きる私たちに課せられた使命です。

豊かな環境を基本とした都市整備と防災力強化を両輪に、快適性と安全・安心が高い水準で保たれたまちづくりを目指します。

四日市市に集まる人々の力を、まちづくりの原動力にする

『健康・生活充実都市』

平均寿命が延びゆく中、心と体の健康を保持し、充実した人生を送りたいと願う気持ちは、市民共通の思いといえます。

生涯にわたり健康で、暮らしの中で楽しみと幸せを実感できるまちづくりを目指します。

【参考】基本構想と基本計画の関係性

＜基本構想＞

未来を創るための羅針盤

四つの将来都市像

充実した人生を歩むための基盤を育み、誰もが憧れる

『子育て・教育安心都市』

東海地域をリードし、地域社会のイノベーションを誘発する

『産業・交流拠点都市』

まちの未来を守り、将来の市民にバトンをつなぐ

『環境・防災先進都市』

四日市市に集まる人々の力を、まちづくりの原動力にする

『健康・生活充実都市』

＜基本計画＞

『住みたい・行きたい・働きたい』
四日市ファンを増やしていくための

重点的横断戦略プラン

子どもと家族を社会で支える取組み

子育てするなら四日市
+ (プラス)

都市の機能と魅力を高め、
活力あふれる都市を創る取組み

リージョン・コア
YOKKAICHI

健康で豊かに暮らせる社会を
築く取組み

幸せ、わくわく！
四日市生活

市民生活に関わる8分野

分野別基本政策

教育・子育て

文化・スポーツ・
観光

産業・港湾

交通・にぎわい

環境・景観

防災・消防

生活・居住

健康・福祉

6. 次期総合計画体系図（素案）



